

家族の時間づくりプロジェクトへの参加のご案内

「家族の時間づくりプロジェクト」は、各地域の協力のもと、大人(企業)と子ども(学校)の休みのマッチングを行い、地域ぐるみの家族の時間を創出することを目的としています。

家族にとって

- ・普段できない体験を家族で一緒に体験可能
- ・家族で話す時間や機会の増加
- ・家族の思い出やきずなづくり

社会・地域にとって

- ・地域行事等の活性化
- ・地域資源を改めて見直し、地域への誇りの醸成
- ・活力のあるまちづくり

学校教育・社会教育にとって

- ・地域行事への参加、歴史資料館・博物館の無料開放等により、地域の観光資源・歴史・文化などの再発見
- ・普段できない体験により子どもの知識や見聞が広がる

企業・団体にとって

- ・有給休暇の取得率の向上
- ・従業員のワークライフバランスの向上
- ・地域向けサービスの売り上げ増大、ビジネスチャンスの拡大

事業実施の
メリット

関係の皆さん全員の満足を目指します

観光庁・運輸局による支援内容

- ・ポスター、チラシ等による普及啓発
- ・有給休暇取得の働きかけ、地元経済界への協力要請支援
- ・アンケート調査、ヒアリングの実施による効果の検証

※その他ご相談があれば、観光庁に逐次お問い合わせ下さい。事業推進を支援して参ります。



チラシの例

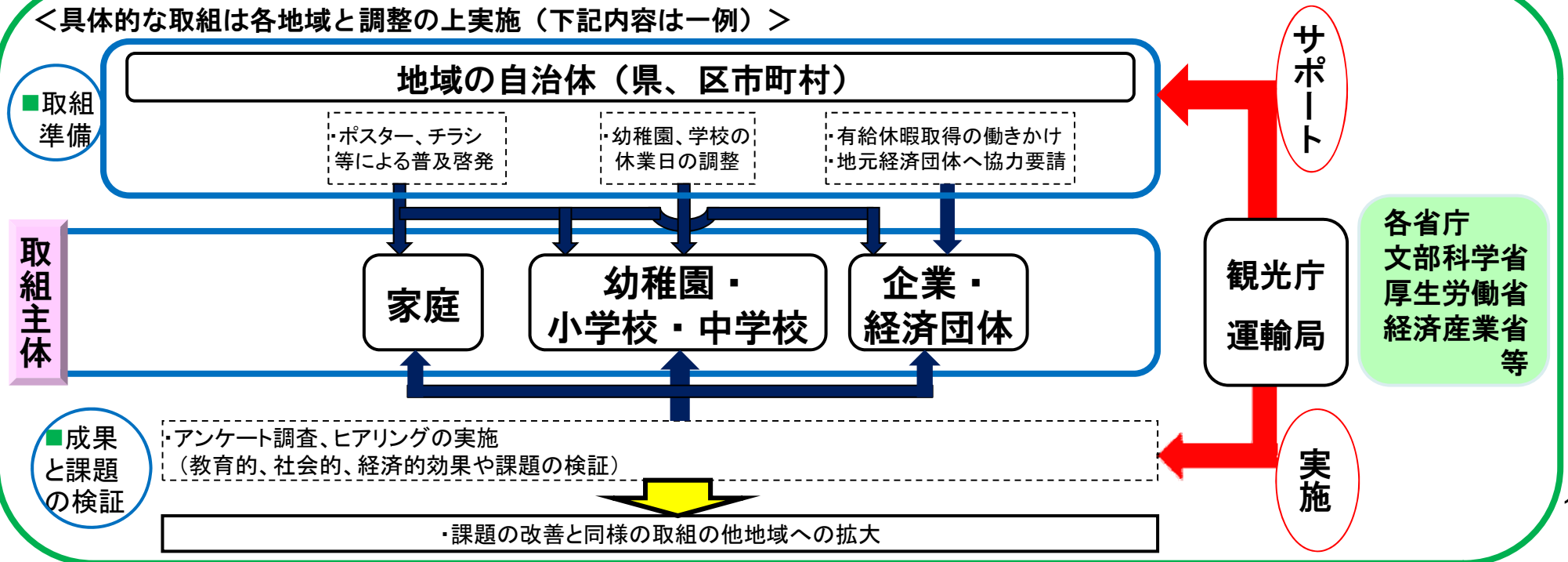
家族の時間づくりプロジェクトの概要

家族の時間づくりプロジェクトとは

- 地域ぐるみの「家族の時間づくり」を目的として、各地域の協力のもと、大人（企業）と子ども（学校）の休みのマッチングを行う実証事業。
- 「家族の時間」がもたらす教育的・社会的効果を明らかにするとともに、取組課題とその改善方策の検証を行い、同様の取組実施を広く働きかけることを目指す。

各地域における取組の実施と効果の検証

<具体的な取組は各地域と調整の上実施（下記内容は一例）>



家族の時間づくりプロジェクト年間スケジュール(秋休み想定)

前年度中	翌年度の学校休業日の日程、対象小中学校(幼稚園)の決定
4月頃	保護者への周知(スケジュール、対象地域等のお知らせ) 企業(経済団体)への周知(同上)
5月頃	保護者への周知(アンケート、地域行事、受入体制等詳細) 企業(経済団体)への周知(同上)
9月頃	アンケート調査内容の照会 (※対象例:保護者、事業所、学校長及び学級担任)
10月頃	アンケート調査の実施
12月～翌年1月頃	アンケート調査結果の分析
翌年2月～3月	事業効果、課題等のとりまとめ

家族の時間づくりプロジェクト実施地域(22年度～23年度)

平成22年度 全国9地域の実施時期、参加者

実施地域名	実施日	実施内容
三重県 亀山市	4/29～5/5(7日)	市内全ての幼稚園(6)・小学校(11)・中学校(3) 参加人数:4,662名
東京都 荒川区	6/5～6/7(3日)	尾久宮前小 参加人数:230名
山口県 山口市	9/19～9/26(8日)	私立野田学園中 参加人数:200名
静岡県 島田市	10/8～10/11(4日)	市内全幼稚園(9)・市立全小中学校(25) 参加人数:9,741名
福岡県 福岡市	10/8～10/13(6日)	博多小 参加人数:600名
京都府 京都市	10/7～10/11(5日) 10/8～10/12(5日) 10/8～10/13(6日) 10/9～10/14(6日)	朱雀第三小(390名) 上鳥羽小(370名) 小栗栖宮山小(370名) 向島藤の木小(300名)
福井県 勝山市	10/30～11/3(5日)	野向小 参加人数:36名
福井県 小浜市	11/3～11/7(5日)	小浜小 参加人数:272名
新潟県 妙高市	10/31～11/3(4日) 11/20～11/23(4日)	新井南小(90名) 妙高高原中(140名) 妙高高原北小(170名) 妙高高原南小(90名) 新井中央小(370名)

平成23年度 全国10地域の実施時期、参加者

実施地域名	実施日	実施内容(予定)
東京都 杉並区	4/29～5/5(7日)	杉並第一小
三重県 亀山市	4/29～5/5(7日)	市内全ての幼稚園(6)・小学校(11)・中学校(3) 参加人数:約4,600名
新潟県 妙高市	4/29～5/5(7日) 11/3～11/6(4日)	新井小 新井南小 新井中央小 新井南小 新井北小 妙高小 妙高中
山口県 山口市	9/22～9/26(5日)	私立野田学園中 参加人数:226名
京都府 京都市	10/6～10/13 (学校毎に3～6日)	市内27小学校
静岡県 静岡市	10/7～10/10(4日)	服織小
静岡県 島田市	10/7～10/10(4日)	市内全幼稚園(9)・市立全小中学校(25) 参加人数:約9,500名
静岡県 川根本町	10/7～10/10(4日)	町内全小・中学校(6)
福岡県 福岡市	10/7～10/11(5日) 10/13～10/16(4日)	博多小学校 千代中学校
埼玉県 行田市	11/3～11/6(4日)	埼玉(さきたま)小

各地域の学校休業日の捻出状況(代表例)

A市

2011年 5月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

29 昭和の日
30

夏休みに授業を実施することで、
7連休を創設

C市

2011年 10月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 体育の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10月2日(日)に実施した運動会を
振り替え、4連休を創設

B市

2011年 9月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19 敬老の日	20	21	22	23 秋分の日	24
25	26	27	28	29	30	

夏休みを8月21日(日)までとし、
2日分を振り替え、5連休を創設

D市

2011年 11月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3 文化の日	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29	30			

10月29日(土)に実施の「オープンスクール」
を振り替え、4連休を創設

家族の時間づくりプロジェクト 地域・都市部での取り組み例

三重県亀山市における取り組み（地域）

* 公共施設の無料公開及び特別公開 *

市施設の無料公開を実施

- ・ 亀山市歴史博物館
- ・ 関宿旅籠玉屋歴史資料館
- ・ 関まちなみ資料館
- ・ 旧館家住宅の特別公開（昨年非公開）
- ・ 鈴鹿峠自然の家の天文台「童夢」（夜間）

* 学童保育所の開所 *

休暇取得が困難な保護者のため

上記内容等をお知らせするための普及啓発

- ・ 事業所等訪問、協力要請
- ・ チラシの配布、ポスターの掲示
（対象：事業者、労働団体、幼稚園及び小中学校）
- ・ 亀山市ホームページ
- ・ 亀山市域のケーブルテレビ



静岡県島田市における取り組み（地域）

「島田市家族と地域の時間づくり重点実施日」として事業を実施

- ・ 富士山静岡空港を利用した家族旅行に対する助成
- ・ S L 列車無料乗車体験
- ・ 親子ふれあいイベント “Happy Friday in 川根”
（島田市の官民が連携し、食、体験、音楽等をテーマに開催）
- ・ 公共施設の無料利用
ばらの丘公園
ローズアリーナ（フール、卓球室、トレーニング室）
お茶の郷博物館 / 島田市博物館
田代の郷温泉 伊太和里の湯
川根温泉 ふれあいの泉
- ・ 公民館等で、料理・映画教室、親子ふれあいイベント

上記内容等をお知らせするための普及啓発

- ・ 事業所への協力要請（市内外349社を訪問）
- ・ チラシの配布、ポスターの掲示
（対象：事業所、幼稚園及び小中学校）
- ・ 広報しまだ（全世帯配布）
- ・ 情報誌「みんな笑顔」特別号
（本事業を特集／全世帯配布）
- ・ FM島田

京都市における取り組み（都市）

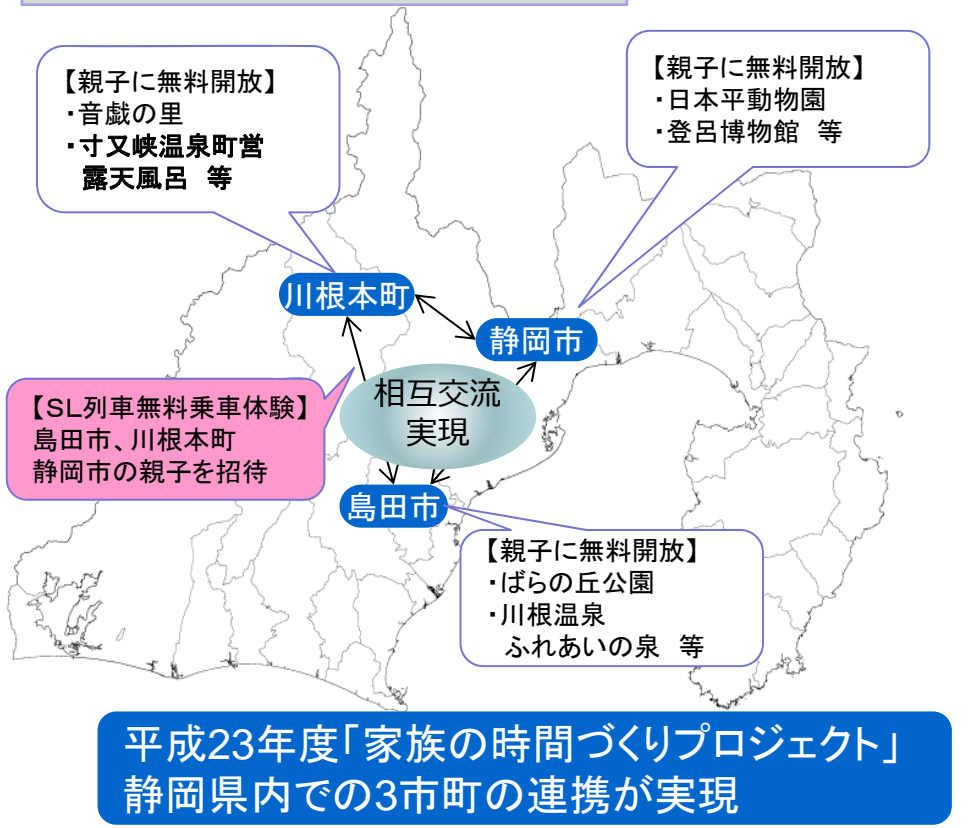
平成23年度は4校から対象校を27校に拡大

平成23年度は参加する児童たちが京都の観光資源を再発見できるような取り組みを実施する予定

家族の時間づくりプロジェクトが地域に及ぼす好影響の例(静岡県内)

10月の“4連休化”が定着へ。これに合わせて民間の取組が発生。

平成23年10月7日(金)～10日(月)



コンビニエンスストア
「SLフェスタ記念弁当」
静岡県内全域(350店舗)で発売

経緯

- ・静岡県島田市は平成22年度からプロジェクトに参加。4連休の創設に合わせて、「SLフェスタ」を開催。
- ・平成23年度は、隣の川根本町・静岡市を巻き込み拡大。
- ・3市町での相互交流が実現。

平成23年度実施の効果

“4連休化”の定着・恒久化

- ・桜井勝郎 島田市長、地域経済に及ぼす効果を踏まえて、「家族の時間づくり」の恒久化を宣言。

地域経済の活性化

- ・コンビニエンスストアが4連休に合わせて、SLフェスタ記念弁当を発売。
- ・島田市の恒久化宣言を踏まえ、島田市内の衣料品店が来年の4連休に合わせたセールを検討。

人的流動及び関連消費の創出

- ・SL列車の無料乗車体験に3市町の親子連れが招待され、地元の魅力を再発見。
- ・親子連れを対象に3市町相互の公共施設を無料開放。静岡市の日本平動物園は4連休中に1日当たり過去最高

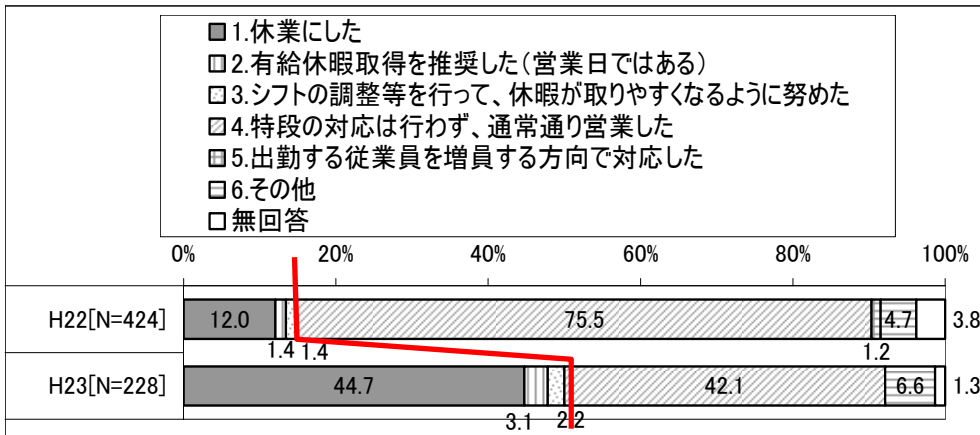
家族の時間づくりプロジェクトが地域に及ぼす好影響の例(三重県亀山市)

事業を2年継続した結果、親の休暇・休業が定着。また、評価する声が増加

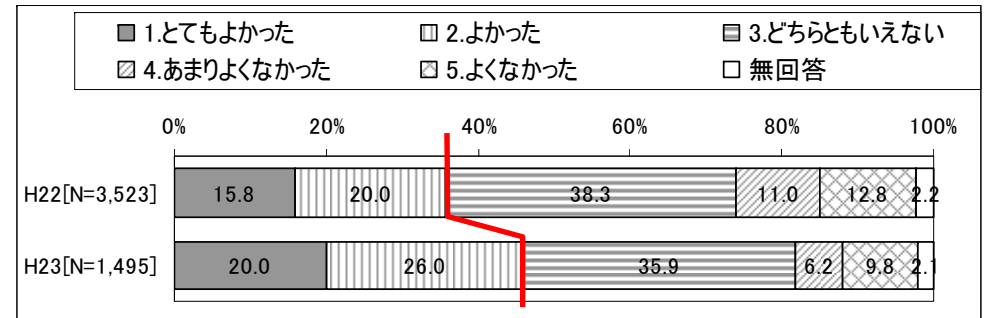
経年比較(亀山市)

平成22年度は4/30(金)を休業日とすることで7連休を創出
平成23年度は5/ 2(月)を休業日とすることで7連休を創出

【企業の声】 休暇・休業の状況



【保護者の声】 学校休業日となったことへの評価



【保護者の声】 学校休業日の行動について

